

請求の範囲

[請求項1]

ガラス繊維強化樹脂組成物であって、

前記ガラス繊維強化樹脂組成物に含まれるガラス繊維における、ガラス繊維全量に対する SiO_2 の含有率 S が $48 \sim 70$ 質量%の範囲にあり、

前記ガラス繊維強化樹脂組成物に含まれるガラス繊維における、ガラス繊維全量に対する Al_2O_3 の含有率 A が $9 \sim 30$ 質量%の範囲にあり、

前記ガラス繊維は、短径 DS が $6.0 \sim 15.0 \mu\text{m}$ の範囲にあり、長径 DL が $20.5 \sim 50.0 \mu\text{m}$ の範囲にある、扁平な断面形状を備え、

前記ガラス繊維強化樹脂組成物におけるガラス繊維含有率 C が、 $65.0 \sim 85.0$ 質量%の範囲にあり、

前記 S 、 A 、 DS 、 DL 及び C が下記式 (1) を満たすことを特徴とする、ガラス繊維強化樹脂組成物。

$$2.24 \leq (100 \times (A^2/S) \times (C/100)^8) / (DS^3 / 4 \times DL^{1/4}) \leq 5.85 \quad \dots (1)$$

[請求項2]

請求項1記載のガラス繊維強化樹脂組成物において、前記 S が $50 \sim 60$ 質量%の範囲にあり、前記 A が $10 \sim 20$ 質量%の範囲にあり、前記 DS が $7.5 \sim 13.0 \mu\text{m}$ の範囲にあり、前記 DL が $30.5 \sim 48.0 \mu\text{m}$ の範囲にあり、前記 C が $70.5 \sim 82.5$ 質量%の範囲にあり、

前記 S 、 A 、 DS 、 DL 及び C が下記式 (2) を満たすことを特徴とする、ガラス繊維強化樹脂組成物。

$$2.27 \leq (100 \times (A^2/S) \times (C/100)^8) / (DS^3 / 4 \times DL^{1/4}) \leq 4.30 \quad \dots (2)$$

[請求項3]

請求項2記載のガラス繊維強化樹脂組成物において、

前記 S 、 A 、 DS 、 DL 及び C が下記式 (3) を満たすことを特徴

とする、ガラス繊維強化樹脂組成物。

$$2.29 \leq (100 \times (A^2/S) \times (C/100)^8) / (DS^3 / 4 \times DL^{1/4}) \leq 3.37 \quad \dots (3)$$

[請求項4] 請求項1～請求項3のいずれか1項記載のガラス繊維強化樹脂組成物において、

前記ガラス繊維強化樹脂組成物に含まれる樹脂は、ポリアミド樹脂、ポリブチレンテレフタレート樹脂、ポリカーボネート樹脂、ポリアリレンサルファイド樹脂、ポリアリールケトン樹脂及び液晶ポリマー（ＬＣＰ）からなる群から選択される１種の射出成形用熱可塑性樹脂であることを特徴とする、ガラス繊維強化樹脂組成物。

[請求項5] 請求項4記載のガラス繊維強化樹脂組成物において、

前記ガラス繊維強化樹脂組成物に含まれる樹脂は、ポリアミド樹脂であることを特徴とする、ガラス繊維強化樹脂組成物。

[請求項6] 請求項1～請求項5のいずれか1項記載のガラス繊維強化樹脂組成物からなることを特徴とする、ガラス繊維強化樹脂成形品。